



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3788 URL <https://www.gmogshd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 青山 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 進 (TEL) 03-6415-6100
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	12,835	8.3	854	△15.3	927	△20.7	578	△27.7
2022年12月期第3四半期	11,853	15.8	1,008	49.6	1,170	62.4	799	57.8

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,135百万円(△17.8%) 2022年12月期第3四半期 1,382百万円(92.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年12月期第3四半期	円 銭 50.20	円 銭 —
2022年12月期第3四半期	69.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年12月期第3四半期	百万円 15,448	百万円 8,628	% 55.7
2022年12月期	14,574	7,956	54.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 8,604百万円 2022年12月期 7,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 39.06	円 銭 39.06
2023年12月期	0.00	0.00	0.00		
2023年12月期(予想)				38.46	38.46

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,080	7.0	1,506	32.0	1,504	23.7	886	4.6	76.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	11,693,000株	2022年12月期	11,693,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	173,680株	2022年12月期	173,637株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	11,519,347株	2022年12月期3Q	11,519,371株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、インターネットサービス市場において、電子認証や電子印鑑を中心とした、認証技術を活用したトラストサービスをグローバルに提供する「電子認証・印鑑事業」、26年を超える運用実績とノウハウを生かしたホスティングサービスおよびマネージドクラウドサービスを提供する「クラウドインフラ事業」、DX化により業務効率化・高付加価値化を図り、様々な課題解決を支援する「DX事業」を展開しております。また、これらの事業を通じて、利便性と安心・信頼を兼ね備えたインターネットサービスを提供し、多くの企業のインターネットビジネスを支えるべく事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社グループの成長・収益基盤の柱である、自社運営の認証局で認証する「GlobalSign」ブランドの電子証明書発行サービスがアジア地域を中心に堅調に伸長いたしました。また、注力商材として位置付けている電子契約サービス※1「電子印鑑GMOサイン」の導入企業数および契約送信数は引き続き順調に推移しており、持続的な成長を図るべく引き続き戦略的投資を行っております。

一方で、電子認証事業において、海外拠点における物価上昇および為替変動の影響により費用が増加いたしました。また、電子印鑑事業においては、引き続き広告宣伝費を戦略的に投資したことで営業利益に影響を与えました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,835,366千円(前年同期比8.3%増)、営業利益854,054千円(同15.3%減)、経常利益927,945千円(同20.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益578,252千円(同27.7%減)となりました。

※1：電子契約サービスとは、これまでの「紙+印鑑」の契約に代わり、「電子データ+電子署名」による契約形態のこと。印紙税課税対象外などのメリットがある

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(電子認証・印鑑事業)

電子認証・印鑑事業においては、電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」を注力商材として位置づけ、人材投資およびマーケティング活動の強化による認知度向上を図ることで、中長期的な事業拡大を目指しております。当第3四半期連結累計期間においては、戦略的投資を継続している「電子印鑑GMOサイン」の販売が堅調に推移しており、契約社数は1,664,908社(前年同期比82.1%増)となりました。契約送信件数においても引き続き順調に増加しており、2,834,248件(前年同期比90.8%増)となりました。地方自治体における業務のデジタル化を通じた行政サービスの利便性向上と職員の働き方改革を目的とした「さよなら印鑑～1億総デジタル化プロジェクト～」においては、新たに官公庁・自治体における処分通知等を電子化する『GMOサイン電子交付』を提供するなど全国各地の自治体DXを推進しております。最近では、神奈川県や静岡県、東京都足立区、福島県郡山市へ導入されるなど、64の公共団体への導入が決定しております。

売上においては、SSLサーバ証明書をはじめとした電子証明書発行サービスが、中国をはじめアジア地域を中心にグローバルに伸長いたしました。また、国内IDaaS※2ソリューションにおいて連携アプリ数No.1となるなど、積極的な機能拡充を推進しているシングルサインオンサービス「GMOトラスト・ログイン」も順調に事業拡大いたしました。一方で費用においては、「電子印鑑GMOサイン」への戦略的投資による広告宣伝費の増加、海外拠点における物価上昇および為替変動に伴う人件費、売上原価の増加がありました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における電子認証・印鑑事業の売上高は7,899,523千円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益は965,878千円(同26.7%減)となりました。

(クラウドインフラ事業)

クラウドインフラ事業は、マネージドクラウドサービス「CloudCREW byGMO」が、クラウドの導入支援および設計・構築、監視・運用などを代行することで、顧客のDX推進に貢献し、売上拡大を図っております。当第3四半期連結累計期間においては、企業のDX推進等による需要拡大やパブリッククラウド市場の成長により、良好な受注環境を維持しています。「CloudCREW byGMO」においては、10月に、AWSが運営するAWSパートナーネットワークの「マネージドサービスプロバイダープログラム」認定を取得いたしました。この認定を取得しているのは日本国内で19社しかなく、当社サービスの実績と高い技術力、健全性が評価された結果として取得したものであります。これにより、クラウド環境の設計・構築、移行といった導入から監視・運用保守に至るすべての工程のサポートが必要となる大手顧客に対して、高い競争力を持った提案が可能となります。一方で、既存のホスティングサービスにおいては、競争環境の激化により売上の鈍化傾向が続いております。また、ホスティングサービスにおいて、BCP対策を目的としたデータセンター移転（2024年度上期頃に完了予定）の影響により売上原価が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるクラウドインフラ事業の売上高は4,502,810千円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は981,322千円(同16.4%減)となりました。

(DX事業)

DX事業においては、電子認証・印鑑事業とクラウドインフラ事業で培ったノウハウを生かし、DX化による業務効率化・高付加価値化を図ることで、企業の様々な課題解決を支援しております。

当第3四半期連結累計期間においては、GMOデジタルラボ社が提供する企業・店舗専用の集客支援アプリ「GMOおみせアプリ」が堅調に導入店舗数を増加させ、当四半期連結会計期間末で10,016店舗（前年同期比6.1%増）となりました。GMOフィナンシャルゲート社との協業サービス「おみせポケット」においては、キャッシュレス化の進展に加え、代理店施策等により順調に導入店舗数を伸ばしており、当四半期連結会計期間末で13,753店舗（前年同期比103.9%増）となり、ストック売上を堅調に積みあげました。最近では、GMOペイメントゲートウェイ社とのグループシナジーにより、オリエントコーポレーション社の提供するカードレスデジタル決済サービスを共同開発いたしました。当事業ではグループシナジーを積極的に推進しており、新規サービス創出による新たな体験価値の提供と事業拡大に取り組んでおります。また、昨年12月に、車両遠隔診断サービスを譲渡したことにより、売上原価が減少したことで営業損益が改善いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるDX事業の売上高は844,529千円(前年同期比1.4%増)、セグメント損失は32,983千円(前年同期は200,131千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、9,794,855千円となり、前連結会計年度末に比べ91,735千円減少しております。主な増減要因は、現金及び預金の減少604,138千円、関係会社預け金の増加200,000千円、売掛金及び契約資産の増加190,362千円、前払費用の増加163,387千円、「その他」に含まれる未収入金の減少36,479千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、5,654,077千円となり、前連結会計年度末に比べ966,363千円増加しております。主な増減要因は、工具、器具及び備品(純額)の増加64,319千円、リース資産(純額)の増加115,670千円、ソフトウェアの増加768,797千円、投資有価証券の減少45,439千円、繰延税金資産の増加8,702千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、4,685,856千円となり、前連結会計年度末に比べ619,203千円減少しております。主な増減要因は、買掛金の減少9,573千円、短期借入金の減少1,000,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加200,000千円、未払金の減少204,557千円、契約負債の増加290,666千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,134,093千円となり、前連結会計年度末に比べ820,948千円増加しております。主な増減要因は、長期借入金の増加605,000千円、リース債務の増加83,634千円、繰延税金負債の増加130,860千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、8,628,982千円となり、前連結会計年度末に比べ672,882千円増加しております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益578,252千円及び支払配当金を449,946千円計上したこと等による利益剰余金の増加128,306千円、その他有価証券評価差額金の減少14,715千円、為替換算調整勘定の増加556,551千円、非支配株主持分の増加2,891千円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、68,038千円であります。これは、電子認証・印鑑事業事業及びDX事業に係るものであり、その主な内容は、IoT分野における研究開発活動であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月13日付け公表の「2022年12月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,679,517	6,075,379
関係会社預け金	-	200,000
売掛金及び契約資産	2,131,998	2,322,361
前払費用	603,850	767,238
その他	578,604	566,444
貸倒引当金	△107,381	△136,569
流動資産合計	9,886,590	9,794,855
固定資産		
有形固定資産		
建物	141,311	147,055
減価償却累計額	△74,144	△89,995
建物(純額)	67,167	57,059
車両運搬具	3,525	3,892
減価償却累計額	△3,525	△3,892
車両運搬具(純額)	-	-
工具、器具及び備品	2,840,367	3,110,921
減価償却累計額	△2,140,510	△2,346,744
工具、器具及び備品(純額)	699,857	764,177
リース資産	340,876	424,065
減価償却累計額	△203,186	△170,706
リース資産(純額)	137,689	253,359
有形固定資産合計	904,714	1,074,596
無形固定資産		
ソフトウェア	2,745,511	3,514,308
その他	46,771	42,610
無形固定資産合計	2,792,283	3,556,918
投資その他の資産		
投資有価証券	334,670	289,230
関係会社株式	165,250	170,250
長期前払費用	128,572	181,256
繰延税金資産	187,040	195,743
その他	175,182	186,080
投資その他の資産合計	990,716	1,022,561
固定資産合計	4,687,713	5,654,077
資産合計	14,574,304	15,448,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,567	58,993
短期借入金	1,000,000	-
1年内返済予定の長期借入金	160,000	360,000
未払金	819,893	615,336
契約負債	2,280,151	2,570,818
リース債務	72,679	97,693
未払法人税等	194,181	147,712
未払消費税等	64,032	84,288
賞与引当金	104,943	89,129
その他	540,611	661,886
流動負債合計	5,305,059	4,685,856
固定負債		
長期借入金	585,000	1,190,000
リース債務	140,324	223,959
繰延税金負債	495,488	626,349
その他	92,330	93,784
固定負債合計	1,313,144	2,134,093
負債合計	6,618,204	6,819,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	916,900	916,900
利益剰余金	6,294,565	6,422,871
自己株式	△163,154	△163,305
株主資本合計	7,048,311	7,176,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,024	47,309
為替換算調整勘定	824,295	1,380,847
その他の包括利益累計額合計	886,320	1,428,156
非支配株主持分	21,468	24,359
純資産合計	7,956,100	8,628,982
負債純資産合計	14,574,304	15,448,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	11,853,846	12,835,366
売上原価	4,633,843	4,783,005
売上総利益	7,220,002	8,052,361
販売費及び一般管理費	6,211,080	7,198,306
営業利益	1,008,921	854,054
営業外収益		
受取利息	3,190	9,824
受取配当金	15,708	36,373
投資事業組合運用益	27,090	98,524
為替差益	110,002	-
その他	14,799	17,665
営業外収益合計	170,791	162,388
営業外費用		
支払利息	4,173	10,219
投資事業組合運用損	4,066	8,655
為替差損	-	67,684
その他	1,354	1,937
営業外費用合計	9,594	88,497
経常利益	1,170,118	927,945
特別利益		
投資有価証券売却益	30,988	12,339
特別利益合計	30,988	12,339
税金等調整前四半期純利益	1,201,107	940,284
法人税、住民税及び事業税	236,180	262,824
法人税等調整額	157,956	84,926
法人税等合計	394,137	347,750
四半期純利益	806,969	592,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,530	14,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	799,439	578,252

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	806,969	592,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146,096	△14,715
為替換算調整勘定	721,307	557,934
その他の包括利益合計	575,210	543,218
四半期包括利益	1,382,179	1,135,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,372,272	1,120,089
非支配株主に係る四半期包括利益	9,907	15,663

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイン フラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,808,790	4,227,659	817,396	11,853,846	—	11,853,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	165,553	247,717	15,354	428,625	△428,625	—
計	6,974,344	4,475,376	832,750	12,282,472	△428,625	11,853,846
セグメント利益又は損失 (△)	1,317,493	1,173,438	△200,131	2,290,800	△1,120,681	1,170,118

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,120,681千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイン フラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,752,927	4,261,743	820,695	12,835,366	—	12,835,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	146,595	241,066	23,834	411,496	△411,496	—
計	7,899,523	4,502,810	844,529	13,246,863	△411,496	12,835,366
セグメント利益又は損失 (△)	965,878	981,322	△32,983	1,914,217	△986,271	927,945

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△986,271千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。